

実績報告作成日 令和 5 年 2 月 27 日

地域おこし協力隊活動実績報告書

隊員氏名： 米澤 弥央

・活動期間：令和 4 年 9 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
(委嘱日：令和 4 年 9 月 1 日)

1. 隊員の活動テーマ

活動テーマ	定住促進 ※共通
より具体的なミッション	1. 地域農業の活性化 農業をしている個人・団体からの情報を集約し、共有できるプラットフォームをつくり、農家同士の結びつきを強め、共通の課題解決に取り組み、地域農業を活性化させる。 2. 「食」と「農」を通じた魅力発信 地域の伝統食文化や農産物の調査を行い、歴史的文化的背景を交えて食と農の魅力を発信し、南丹市や農業に興味を持ってもらえるように取組を行う。

2. 活動の検証

(1) 定住促進への直接的効果

移住等の相談を受けた件数	4 件 (4 人)
移住希望者に現地案内などの活動を行った件数	2 件 (2 人)
うち移住につながった人数	件 (人)
うち移住につながる可能性のある人数	1 件 (1 人)
具体的な相談の内容	自分が関わらせていただいた稲刈りイベントに参加した、南丹市への移住に興味がある方を周辺地域中心に案内した。 地方への移住と地域おこし協力隊の働き方について興味がある方とオンラインでのミーティングを行った。 私個人の SNS での発信から南丹市に興味を持っていた方を 1 日かけて案内した。

今後の展開や展望または反省点など	南丹市への移住に興味がある方は具体的な相談窓口に繋げるなどして、もう一歩移住に踏み込めるよう心掛ける。
------------------	---

(2) 具体的な活動について

活動を展開した地域数と名称	地 域 数： 3 地域 地域の名称：(園部町半田、園部町埴生、美山町知井)
移住者受け入れや地域振興への意識が高まったと思われる地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：(園部町半田、園部町埴生)
今後継続的なアプローチにより意識が高まる見込みの地域数と名称	地 域 数： 2 地域 地域の名称：(園部町半田、園部町埴生)

活動内容	現在の課題	期待する成果・展望
南丹市の農業現状調査	調査のデータを数値化する。必要な項目を、情報を必要とする方々に相談しながら整理する。	課題を含めた現状を数値化することで具体的な政策を立てやすい。新規就農する際に知りたい情報を開示することで移住促進に繋がる。
地域の野菜を使った商品開発に向けてのレシピ開発	公共性とのバランス	南丹市の食材を南丹市内外に広めることが出来る。
南丹市のイベントなどを、SNSなどを中心に発信する	より多くのアクセス数	南丹市について認知してもらう機会を作る。また # 地方移住 #I ターン などのタグをつけピンポイントでターゲットに情報を届ける。

3. 活動表

活動年	実績・効果、目標
1 年目	（実績）南丹市で自分のミッション達成に必要な情報を得る、人脈を作るのが就任後最初の目標だったがたくさんの方々の支援もあり少しずつではあるが具体的な活動が出来るようになってきた。 （効果）地盤を固めることで活動がしやすくなった。 （実績）外部の方を招いてのイベント企画や、南丹市外での南丹市 PR を含めた食材販売促進。地域の野菜を使った加工品開発。 （効果）南丹市外の方に向けての南丹市の PR が出来た。 （実績）南丹市で行われるイベントへのスタッフとしての参加などを通し、協力隊の活動を知ってもらう機会が多かった。 （効果）地域の方に協力隊としての活動を認知していただくことで新たなつながりが生まれたり、応援して頂けたりした。 （目標）今後は引き続き南丹市の農家さんのデータ収集に向けて動き、今やっている商品開発なども進める。
2 年目	（目標）南丹市内の有機農業にまつわる情報を収集し、新規就農で有機農業をしたい方が情報を得ることができる体制を整えるための、具体的な案を考える。 （活動目的）南丹市内の有機農業を行っている方が参考に出来るデータを取ることで南丹市内の有機農業を底上げする。またその情報は新規就農を考えている方に向けても公開することで移住・就農へのハードルを下げそれらを促進することに繋がる。 （目標）南丹市内の野菜を全国に販売、流通させるために地域の加工場を活性化させる。 （活動目的）南丹市のことを知ってもらう機会でもあり、経済効果も期待出来る。
3 年目	（目標）引き続き南丹市内の農業にまつわる情報を収集。関係人口を増やすことで移住定住促進に向けての機会を作る（イベントやセミナー、ウーファーなど企画） （活動目的）ゆくゆくの移住を視野に短期的長期的に関わっていただける機会を設けることで、南丹市を知って、好きになってもらう。
任期後に得たい成果・変化（自分自身・地域・関係者）	・就任当初から一つのゴールとして掲げていた、南丹市のことを知り、関わり、好きになる、は有難いことに移住半年もせず達成。 ・縁もゆかりも無い土地で一から何か活動し作り上げることは、自分自身のスキルと良くも悪くも向き合うことができるので、これからも協力隊任期内で出来ることを増やし、任期後に自らが成し遂げたい夢を叶えたい。 ・南丹市内の農家さんが継続的に南丹市内外に適正価格で販売出来る。 ・地方移住で農業をしたいと考えている方が知りたい南丹市内の農業に関する

	る情報を入手しやすく、相談体制がある中で移住しやすい環境が整っている。 ・南丹市内の農家さんの情報交換が活発的に行われている。 ・今一緒に仕事をしてくださっている方々共、協力隊としてだけでなく、一人の同じ地域に住む者として関わっていただけたらと思っている。
--	--